

令和5年度 第1回 大和市国民健康保険運営協議会 議事録

日時：令和5年7月20日（木）
 18時30分～19時50分
 場所：大和市役所 本庁舎5階
 研修室

- 出席者：吉澤弘会長、青木正始委員、目黒裕委員、菊地慶子委員、高野恵雄委員、楠原範之委員、小俣好子委員、二見義廣委員、渡辺信夫委員、保田完次委員、村上せつ子委員（11人）
- 事務局：佐藤市民経済部長、堤保険年金課長、西村係長、内村係長、武川係長、藤本主査、八木下主査
- 担当課：山中医療健診課長、山田係長、羽鳥係長、白岩主査、平本主事、磯部健康づくり推進課長、浅倉主幹、守屋係長
- 傍聴者：なし

○内容

- (1) 令和5年度 大和市国民健康保険事業特別会計予算について（報告）
- (2) 大和市国民健康保険データヘルス計画の評価について（報告）

事務局	<p>1 開会 開会宣言（出席委員が11名で会議成立）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議題 (1) 令和5年度 大和市国民健康保険事業特別会計予算について（報告） (2) 大和市国民健康保険データヘルス計画の評価について（報告）</p>
会長	<p>これより、議題に移ります。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○令和5年度 大和市国民健康保険事業特別会計予算について（報告） 資料1及び資料1-1について説明</p> <p>質疑応答</p>
会長	<p>【歳出】特定健康診査・特定保健指導が含まれる保健事業費について、後期高齢者医療制度や社会保険への移行、または新型コロナウイルス感染症の影響により受診が減ったのか、予算が減額となった要因を聞きたい。</p>

事務局	被保険者数の推移や特定健康診査の受診率等を踏まえて、財政部局との調整のうえで計上したものである。
会長	国民健康保険に加入している被保険者そのものが減ってきていると捉えてよいか。
事務局	令和4年度以降、団塊の世代と呼ばれる昭和22年度生まれの方々が、後期高齢者医療制度に移行したことがある。また、社会保険に加入される方が増えており、国も社会保険の適用の拡大を推し進めていることでもあるので、国民健康保険の被保険者数は減少傾向にある。
委員	【歳出】諸支出金の内訳が還付金等となっているが、間違っって保険税を徴収し過ぎてしまった場合に還付するということでよいか。
事務局	国民健康保険税は所得に基づいて賦課決定するが、その年の1月1日に大和市にいなかった転入者については、大和市で所得情報を把握していないため、平等割と均等割の部分のみ当初決定する。その後、前住所地への所得照会を行い、所得情報が判明した段階で、所得割の部分を計算するが、その結果として当初決定額から減額となる場合がある。 その他、所得について未申告だった方が申告されたり、年度途中で国民健康保険に加入する世帯員の人数の増減、世帯状況の変化があったりといった状況により、保険税の再計算を行うことがある。 賦課誤りということではなく、保険税の再計算の結果、当初決定額から減額となったときに還付することになる。
担当課	○大和市国民健康保険データヘルス計画の評価について（報告） 資料2について説明 質疑応答
委員	国民健康保険加入者について、今後3年間の加入者数の推移は把握しているか。
事務局	令和4年度から、いわゆる団塊の世代の方々が後期高齢者医療制度に移行している。団塊の世代というと、昭和22年度から昭和24年度生まれの方々になるが、それ以降に生まれた方が急に減るわけではないので、さらに3～4年程度は後期高齢者医療制度への移行が続くことになる。また、併せて、国は社会保険への加入を促進しているため、制度改正に伴い、都度その影響を受けることになる。 そのため、被保険者数の減少はさらに加速するものと見込んでいる。

委員	収入も大きく減ってくるということか。
事務局	新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった期間を経て、景気が少し上向きになってきているので、保険税については状況を注視していかなければならないと考えている。
委員	特定健康診査受診率について、神奈川県内で向上している市はあるのか。増えている市町村はこういう政策により受診率が伸びているという事例があれば知りたい。
事務局	平成28年度以前（資料に記載がある年度より以前）は、大和市は県内4～5位くらいだった。当時、他市の取り組みを見ながら受診率の向上に努めていて、具体的な事例でいうと、従前は特定健康診査の受診券を単独で送付していたところ、他に実施しているがん検診などの受診券と一緒に送るようにした。検診も種類が多いので、大きな封筒を作って目立つようにもした。 ただ、他市でも、受診期間の延長などの様々な取り組みがなされているなかで、特定健康診査の受診率向上に際し、決定的に効果的な取り組みというのはなく、大和市も他市も、お互いの手法をお互いに調査研究し、毎年取り組んでいるところである。 特定健康診査の前身である、基本健康診査の時代から、神奈川県内では藤沢市が常に1位である。
委員	特定健康診査の受診率向上について、具体的な取り組みを考えた方がよい。 保健事業の目標について、このような書き方しかできないものか。特定健康診査受診率の向上・特定保健指導実施率の向上のいずれも、毎年の目標値は同じ数字を並べただけに見える。厳しい言い方をすると、現実を見ずに数字だけを入れているだけで、意味がないのではないか。特に、特定保健指導実施率は、実績値が20.2%しかないのに目標値が37.5%（※R3年度）など、どう見ても現実を見ていない数字だろう。 資料中「最終」とは、10年後か、30年後か、いつなのか。
担当課	最終目標60%は、委員ご指摘のとおり、実績値からかけ離れている。このデータヘルス計画（第2期）については、平成30年度に策定したものであり、その当時に目標値を定めている。策定に際しては、国から策定の手引きが示され、その手引き中で、特定健康診査受診率60%・特定保健指導実施率60%が目標値とされた。 ただ、自治体の現状を踏まえて、無理のない範囲で目標値を設定して差し支えないとされていて、特定健康診査受診率は、平成29年度の受診率34.1%を踏まえ、毎年1%ずつの伸びであれば達成できるのではな

	<p>いかとの見込みにより、設定したものである。</p> <p>最終年度がいつかについては、具体的な年度を設定しているわけではないが、毎年1%ずつ向上させていき、最終的には国が示す目標値である60%を達成したいという計画になっている。</p> <p>次期（第3期）計画における目標値については、審議会の意見を踏まえながら、検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>それでは、最終目標 60%とは、市町村の判断により下げてもよいということか。</p>
担当課	<p>計画の期間内における各年度の目標値をどのようにするかは、現状を見据えて検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>人間ドック助成事業について、大和市立病院の撤退により受診件数が減少したとの記載になっているが、大和市にあって、大和市立病院が撤退したのには、何か大きな理由があるのか。</p>
事務局	<p>平成28年度末で、市立病院で人間ドック事業から撤退したが、その理由として二次医療機関としての役割を果たすためと聞いている。</p>
委員	<p>人間ドックの受診結果は特定健康診査に振り替えるということになっているので、特定健康診査においてある程度の位置づけにあるのだと思うが、受診しやすいスタイルを提供していくことが大事だと思う。大和市立病院が撤退して、それに代わる医療機関の指定など、受診できる場所は増えたのか。</p>
事務局	<p>大和市立病院の撤退の際には、他の協力医療機関へのデータの引き継ぎをお願いしており、人間ドック助成事業のPRもお願いした。一時的に協力医療機関が増えたこともあるが、市立病院で受診できなくなったというのは影響が大きかったようだ。また、新型コロナウイルス感染症も影響し、なかなか受診者数が戻ってきていないのが現状である。</p>
委員	<p>受診勧奨事業について、分母となる40～74歳までの国保加入者は増えていくのか。それとも減っていくのか。</p>
担当課	<p>40～74歳までの国保加入者は特定健康診査の対象者ということになるが、国民健康保険加入者の人数に比例して、徐々に減っていくものと想定している。</p>
委員	<p>受診率が上がってくる可能性は高いということか。</p>
担当課	<p>受診率の向上を目指して、改善を図っていきたいと考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>長時間に渡って、様々なご意見ありがとうございました。 大和市の課題として、65 歳以上の一人世帯に健診のお知らせを送っても、家から出られない方が増えているのが実態としてある。40 歳代の若い世代の受診率を上げていくことと、一人世帯の方の受診率を上げていくことを考えていかないといけない。実際に近くのスーパーにすら行けない人が増えており、そのような方の受診率をどのように上げていくのが課題になると思うので、そのような状況も踏まえて担当課は次期データヘルス計画の策定に取り組んでほしい。</p> <p>その他ですが、事務局からありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度の開催予定等について、その方向性をお伝えする。 大和市国民健康保険データヘルス計画について、今年度が計画の最終年度となっているため、来年度からの第3期計画を策定する予定である。については、今年度中にその内容について諮問させていただく予定である。年明け1月頃の開催を予定しているが、国の動向等により、早急な事案が生じた際には、年内にも開催する場合があるため、ご協力をお願いしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>その他ないようであれば、これにて第1回大和市国民健康保険運営協議会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>